

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	スーパー（総務担当）	・単価に関係なく、美味しいもの、お得感のあるものは良く売れている。	
	やや良くなる	商店街（代表者）	・前月ないし前年と比べて荷動きは活発化しており、今後は改善傾向で推移する。	
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・客は不要な物は買わないが、価値ある物にはお金を払い、購入意欲は高い。良い商品を出せば今後良くなる環境にある。	
		百貨店（売場主任）	・男性でもファッションに興味のある人が増え、20代、30代はもちろん、50代、60代でもカジュアルシューズを購入する客が増えている。今後はブーツの売上も増加する。	
		百貨店（企画担当）	・婦人服を中心にファッションの新しいトレンドが生まれつつあり、売上が期待できる。 ・紳士服ではウォームビス効果も期待できるなど、この秋冬商戦は昨年より明るい話題が多い。	
		スーパー（経営者）	・来客数、販売量とも徐々に増加傾向にある。	
		スーパー（店員）	・年末予約商品のヒットが見込まれる。	
		コンビニ（エリア担当）	・競合激化により厳しい状況は今後も継続するが、欲しい物に対する購買意欲はおう盛であり、改善も見込まれる。	
		家電量販店（店員）	・灯油価格の高騰で、石油ファンヒーターよりも単価の高いエアコンが暖房のメインとなりそうである。鳥インフルエンザ対策で、高機能空気清浄機の売上も期待できる。	
		住関連専門店（営業担当）	・個人住宅や企業の新築、改装物件が増えており、住関連製品へのニーズも増加傾向にある。	
		その他小売〔総合衣料〕（店員）	・夏のクールビスに続き冬のウォームビスが業界全体で騒がれており、消費者もそのような動きに敏感になっている。	
		高級レストラン（スタッフ）	・予約状況は前年より良くなっている。	
		一般レストラン（スタッフ）	・来客数が若干ながら増加傾向にある。	
		スナック（経営者）	・スタッフの増員やレベルアップにより、客が増えている。今後もスタッフ教育を強化し、メール等で営業していけば少しは上向きになる。	
		スナック（経営者）	・昨年末ごろから前年の売上を上回る月が増えており、今年の年末にも売上増を期待できる。	
		観光型ホテル（スタッフ）	・愛知万博開催中は、宴会、会議、婚礼等が控えられていたが、その反動で閉幕後はやや良い予約状況にある。	
		ゴルフ場（経営者）	・12月以降の予約数も前年を上回っており、期待が持てる。近隣のゴルフ場も同様な動きであると聞いている。	
		変わらない	商店街（代表者）	・客は必要以外は買わず、客単価は引き続き低下傾向にある。
			商店街（代表者）	・デジタルテレビの売行きが良くなっているが、単価の低下が著しく、利益が取れない状況が続く。
	百貨店（売場主任）		・愛知万博閉幕後は、味噌カツ、ひつまぶし、エビフライなどのレストラン売上が半減している。今後しばらくは反動減が続く。	
百貨店（売場主任）	・このまま気温が下がればコート類の需要がそこそこ期待できるが、客の購買意欲が今まで以上に上向きになるとは思えない。			
スーパー（経営者）	・厳しい競争は今後も続き、客の様子をみても、当面は現状が続く。			
スーパー（経営者）	・小売業では相変わらずのチラシ、乱売合戦であり、今後もこの状況は変化しない。			
スーパー（店長）	・増税、灯油価格の高騰など不安材料が続出しているため、食品などへの支出は節約される。			
コンビニ（エリア担当）	・客の新商品への動きは鈍く、今後も期待しにくい。また今後は大きなイベントなども予定されておらず、現状が続く。			
コンビニ（エリア担当）	・一番厳しい時期は脱したが、これ以上上がる要素も見つからない。			
コンビニ（売場担当）	・愛知万博開催期間中の売上と比較すると、今後3か月は明らかに落ち込む。しかし例年の売上と比較すれば、それほど変わらない。			
衣料品専門店（企画担当）	・販売数量は増加傾向がみられるものの、売上増加は望めない。			

	家電量販店（経営者）	・生活製品の買物をしている客を見ていると、まだまだ慎重である。3か月先も同じような状態が続く。	
	乗用車販売店（経営者）	・競合店が多く、非常に苦慮している。同系列店同士の争いもあり、体力が弱っている。	
	乗用車販売店（従業員）	・特に明るい要素もなく、先行き不透明で変わりはない。	
	乗用車販売店（従業員）	・新型車の導入があるが、販売量はそれほど見込めない。	
	乗用車販売店（従業員）	・個人、法人とも引き合いが少ないため、しばらくは平年並みを確保するのがやっとである。	
	自動車備品販売店（経営者）	・車検メンテナンス客の取り込みが順調に行われている店舗では売上回復が見込めるが、全店レベルではなかなか難しい。	
	その他小売〔貴金属〕（経営者）	・少しずつだが、上向きになっている。価格はまだ抑え気味だが、購買力が多少は戻ってきている。	
	一般レストラン（スタッフ）	・愛知万博閉幕後しばらくは、反動減がみられる。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・忘年会の問い合わせ、予約は、まずまずの状況である。	
	旅行代理店（経営者）	・2、3か月先の予約は昨年よりも順調で、10～15%増である。	
	旅行代理店（従業員）	・年末から年始にかけての海外旅行等の動きは、現在のところあまり良くない。	
	テーマパーク（職員）	・来客数、予約状況とも変化はみられない。	
	ゴルフ場（企画担当）	・10～12月は順調に予約が入っている。コンペの予約も順調で、前年並みに推移する。	
	設計事務所（経営者）	・案件数は比較的安定しており、現状維持の状態が続く。	
	住宅販売会社（経営者）	・高い物件は売れないため、安い物件を買い入れなければならず、利益も下がっていく。	
	住宅販売会社（従業員）	・自動車産業が引き続き堅調なため、社員、工員を確保するためのアパート、賃貸マンション、分譲マンション、戸建ての建設が以前と変わらず行われている。	
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕（経営者）	・見積などの引き合いは、現在と同じような状況である。	
やや悪くなる	一般小売店〔酒〕（経営者）	・石油の値上がりに伴い、いろいろな物価も上昇している。周囲の環境はこの先もさらに厳しい状態になる。	
	家電量販店（店員）	・燃料費が高騰してくると、当業界でも収益はやや悪化する。	
	乗用車販売店（経営者）	・増税懸念により、消費者は商品選びに対してもう一段慎重になる。今後ますます価格志向が強くなる。	
	乗用車販売店（従業員）	・愛知万博閉幕後しばらくは、反動減がみられる。	
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	・単価の伸びがなく、売上増は期待できない。	
	都市型ホテル（経営者）	・愛知万博特需の反動で、開催中と比較すると悪くなる。	
	旅行代理店（従業員）	・原油高騰のあおりを受け、運輸関連企業の忘新年会が軒並み中止になっている。また温暖化、人気低下によりスキー客の減少が著しくなっており、冬期の旅行取扱量は前年より減少する。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅金融公庫等の金利が上昇傾向にあるため、建築投資への手控え感が少し増している。	
	住宅販売会社（企画担当）	・原油高で運送費、建築資材価格が上昇しているため、今後は客は様子見になる。	
悪くなる	コンビニ（経営者）	・酒類免許の規制緩和により、旧来の酒屋では成り立たなくなっている。地域の需要を考えると、今後酒屋の3割が廃業すると見込まれる。	
企業動向関連	良くなる		
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・受注量、販売量とも、5～7%増加する見込みである。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・窯業界の景気の先行指数となる住宅着工件数は、6～8月の累計が3～5月の累計を15.3%上回っている。
		輸送業（エリア担当）	・製造業の動向が非常に良く、設備投資や海外工場への貨物移動が期待される。貨物量は今後も順調に伸びていく。
変わらない	食料品製造業（企画担当）	・受注数量は回復傾向である。しかし、原油高により包材費、動燃費が上昇しており原価を高くしている一方で、商品価格への転嫁ができない状況にあり、収益を圧迫している。	

	印刷業（営業担当）	・受注量、販売量の推移をみると、今後も現状と変わらない。	
	化学工業（企画担当）	・愛知万博閉幕後も受注量、販売量ともに変わりなく、堅調に推移している。	
	窯業・土石製造業（社員）	・回復は感じられるが、そのペースは非常にゆっくりとしている。その一方で、原材料費や燃料費の上昇が心配である。	
	金属製品製造業（経営者）	・相変わらず原材料高、製品安の状態が続く。	
	金属製品製造業（従業員）	・忙しくはなるが、売上増加にはつながらない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・国内向けの売上は、新規購入より買い換え中心の傾向がさらに強くなれば、減少する可能性もある。海外向けは、原油価格高騰等により米国経済が悪化したり急激な円高に進むと、収益面にも大きく影響してくる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・完全に横ばいが続いている。年末に向けて変化する材料もない。	
	建設業（経営者）	・企業受注に関しては堅調であるが、個人住宅に関してはまだ底の状態にある。	
	輸送業（エリア担当）	・運賃値上げが当分できそうもない。	
	輸送業（エリア担当）	・4月以来トン当たり単価が低下しており、この傾向は今後も続く。	
	金融業（企画担当）	・年末に向けて、不動産や物の動きは相応に見込まれる。	
	経営コンサルタント	・地価の二極化が進行しており、中心部では良くなってくるが、郊外では縮小傾向になっていく。	
	公認会計士	・中小企業の借入過多は改善されていない。自動車関連が堅調であるが、底上げにも限度がある。	
	会計事務所（職員）	・病院、建設、小売など引き続き厳しい業種もある反面、サービス業、飲食店、量販店など上昇業種もみられる。	
	会計事務所（社会保険労務士）	・流通や建設業では企業間の業績差が大きいが、平均すると変わらない。	
	やや悪くなる	一般機械器具製造業（販売担当）	・受注金額は変わらず高い水準で推移する予定だが、原材料費の値上げにコストダウンや値上げが追いつかず、利益率は悪くなっている。
		輸送業（従業員）	・原油価格の高騰による燃料費の上昇に加えて、フェリー料金の値上げも重なり、厳しい経営を余儀なくされている。今後もこの傾向は続く。
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・住宅販売、ガラス商社、電気機器、水処理プラントの大手メーカー、機械器具等の卸売、食料品の卸売等で、引き続き求人意欲が高い。
	やや良くなる	人材派遣業（経営企画）	・派遣先の各種製造業では、研究開発活動が引き続き活発に推移する。
		人材派遣会社（社員）	・自動車関連企業が好調であるが、人材補充が十分できておらず、派遣需要の伸びは今後も続く。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・正社員募集が増えており、秋口から更にその傾向が強くなっている。
		職業安定所（所長）	・来年3月卒業の高校生の就職試験の第1次が終了したが、管内の高校生は72.3%に就職内定が出ており、前年より8.7ポイント上昇している。
		職業安定所（職員）	・輸送用機械器具製造業では新規求人が増加しており、サービス業でも上向き傾向となっている。
		職業安定所（管理部門担当）	・以前は専門技術者への求人が多かったが、最近ではあらゆる職種で求人が増えている。有効求人倍率も高水準で推移しており、人手不足が続いている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・企業からの派遣、人材紹介の注文は相変わらず好調で、求人は活発に推移する。
		人材派遣会社（社員）	・以前と比べると求人数が増えたが、今後更に件数増加につながるかと、やはり限界がある。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・愛知万博閉幕後、少しは雇用のミスマッチが解消するかと期待したが、労働者の回帰は進んでいない。対策が見つからず、今後もこの状態は続く。
求人情報誌製作会社（編集者）		・アルバイト、派遣の求人数は増加傾向にあるが、正社員の求人は予想より伸び悩んでおり、不安定である。	
やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・求人難の企業は正社員を確保しようとしているが、なかなか採用できない状況にある。企業によっては増産に対応できないところも出てくる。	

	新聞社 [求人広告] (担当者)	・愛知万博、中部国際空港による影響も一段落し、今後はパート、アルバイトや派遣求人の伸びも望めない。自動車関連業などで好調が維持されても、求人全体としては前年実績を下回る。
悪くなる	-	-